

議事概要

報告1 新三戸中央病院経営改革プラン（令和2年度実績）について

（委員） 医療形態の見直しに至らなかった理由は。

（事務局） 休床している2階病棟を老人保健施設等に転換して収益を増やす計画だったが、本業の看護師の確保が困難であり、老人保健施設等の職員も確保ができなかったため、事業形態の見直しに至らなかった。

（委員） 外来患者数がすべての年度で目標を下回った原因として、コロナ禍や人口減少のほかに原因はあるのか、また改善案はあるのか。

（事務局） 人口減少と同じ傾向で外来患者数が減少していると考えている。改善案として、新規患者の取り込みに向けた取り組みを進めていく必要があると考えている。

案件1 公立病院経営強化ガイドラインについて

（委員） 新型コロナウイルスの蔓延で、職員の感染拡大により病床又は外来の一部を縮小したと思うが、5類になった後に同様の状況になった場合どうするか。

（事務局） インフルエンザに罹患した職員に対する出勤停止と同様の取扱いになる見込みである。感染拡大した場合は、感染防止対策委員会で検討が必要になる。

（委員） 感染拡大防止措置を交付金や補助金がない中で実施するのは負担となるが、どう考えているか。

（事務局） これまでの補助金等で用意したものに余裕があり、しばらくはそれらを用いて感染対策をする。また、防御態勢も5類移行前より厳重でないため、予防衣等の費用は減ると思う。

案件2 三戸中央病院経営強化プラン（案）について

（委員） 博愛の精神や志、ホスピタリティを含めた医療従事者の質の向上に力を入れることで、患者の安心度、信頼度や満足度の高い病院となり、かかりつけ医として外来患者数も増加すると思う。

（委員） 2階病棟について、非常にもったいない状態が続いているため、慎重かつ速やかに有効活用の検討を進めてほしい。

（委員） 看護師志望学生の学費を負担して養成する、働きながら学校に行くことができる、といった支援はしているか。

（事務局） 現在は、医師、看護師、医療技術職員志望者に奨学金を貸与し、貸与終了後に当院で勤めた月数分の奨学金を償還免除する奨学金制度を導入している。現在の月の上限額は、医師が20万円、他医療従事者は5万円となっているが、今後、貸与上限額を引き上げる予定である。